

## 日経平均株価

2万7901円01銭

▲326円58銭(前日比)

## TOPIX

1961.56

▲20.06(前日比)

2022  
12/12  
月曜日

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



# 年末も動きいいグロース

## 為替の影響受けにくい内需株で



3市場の中でグロースが好パフォーマンス

え、内需に限定しても素材高から業績面での不安は拭えない。消去法的にAIやDXなど革新技术を有して新鮮味のあるグロース銘柄が個人投資家のターゲットになった。

既に年末のIPOラッシュが始まっているが、11月30日公開のeスポーツ専門のウエルプレイド・ライゼスト(9565)と12月1日公開のバイオプリオプティカ(4892)がとも

日経平均の日足チャート



12月上旬までの株式市場の動きを総括すると、日経平均では8月高値の2万9222円77銭を抜け切れずに2万8000円割れまで失速するも、グロース市場core指数では1日に1007・

12と市場開設時につけた4月高値1072・99以来の水準になっており、グロース銘柄優位の展開になっている。輸出系の大型株では急速な円高で今後はアナリストからの下方修正リスクがあるう

え、内需に限定しても素材高から業績面での不安は拭けない。消去法的にAIやDXなど革新技术を有して新鮮味のあるグロース銘柄が個人投資家のターゲットになった。

今年6月公開で初値550円から株価が5・6倍超になったのが大阪大学発ベンチャーのマイクロ波化学(9227)。同じく6月公開で初値1480円から2・1倍まで上昇した延長保証事業展開のジャパンワランティサポート(7386)なども含めて急騰銘柄には今年公開銘柄が多数を占める。ここからは12月IPO銘柄で初値形成後の押し目を狙うのも一法だ。

## 今年IPO中心に局地戦

ットになりそう。うだ。

株式市場は12月中旬を過ぎれば年末へ向け大納会を意識する時期にさしかかった。この先、クリスマス休暇に入ること欧米を中心に海外投資家の動きが鈍ることから投資主体は国内勢、特に個人投資家を中心とする個別物色の色彩が強くなると思われるが、急速な円高への反転で、輸出系主力銘柄は下方修正リスクから上値を追いにくくなる。そのような中で為替の影響を受けにくい内需銘柄の中から引き続き値動きの良いグロースの局地戦の色彩が強まりそう。

11月第4週の動意銘柄

日医工がストップ高

債権者会議再建可能性報告

週明け28日、日

医工(4541)が

ストップ高。25日

に再度行われた金融

機関との債権者会議

では、事業再生ADR

を中立的な立場で

進める弁護士が行っ

た事業再生計画案の

検証結果が示され、

「計画案は合理的で

再建可能性がある」と

報告されたと報じ

れたことで、再建へ

の期待から買いを集



日医工の日足チャート

めたようだ。

イオレ新事業開始

イオレ(2334)

がストップ高。新た

な事業の開始を発表

した。Digital

Enterprise

Assessment

Pte.Ltd.

が急落。27日行わ

るオンラインゲーム

において使用するこ

とができるNFT又

は、NFT以外のゲー

ム内アイテムの日本

エーザイ2例目の死亡

29日、エ

ーザイ(45

23)が急反落。

海外報道で米

バイオジェン

と共同開発す

るアルツハイ

マー病治療薬

「レカネマブ」

との関連性が

考えられる2

例目の死亡が

報告されたと

伝わった。治

験に参加して

いた65歳の女性が発

脳卒中と脳浮腫を発

症、大量の脳出血で

死亡したという。前

日の米国市場でバ

イオジェンの株価は

一時5%近く下落。

同社ADRも6%近

い下げとなった。

Aimingが急伸

Aiming(39

11)が急伸。スマ

ートフォン向けゲー

ム「かみながしじま

く輪廻の巫女」を

開発すると発表した。

LITMUSと共同

制作発表会を12月

1日に行う予定。

新東1対2株式分割

が3連騰。12月3

0日を基準日として

1対2の株式分割を

実施すると発表した。

プラザクリ自社株買

プラザクリエイト

本社(7502)が

反発。自己株式取得

枠の設定を発表、上

限30万株(発行済

株式総数に対する割

合2.47%)また

は1億5000万円

で取得期間は12月

1日~5月31日。

30日、カヤック

(3904)が急反落。

新株予約権のうち7

02個(発行総数の

10.03%)が権

利行使されたと発表

したことで希薄化と

需給懸念が和らいだ。

ただ、グループ会社

のウエルプレイド・

ライゼスト(956

5)のIPO伴う含

み益拡大を期待して

大きく水準を切り上

げてきたため、きよ

うの上場で当面の出

尽くし感が広がった。

出直るグロースを狙う

ただ、週明け

指数(CPI)、

B理事会も控え

ールが目白押し

予想されますが、

好調なら既上場銘柄への資

金還流が考えられ、エニ

カラーの値動きを確認しな

がら、調整一巡から出直

る中小型グロースを狙

う考えです。 花咲翁

正直いいさんの株で大判小判

前週の東京市場は反発。日経平均は週

間で123円上昇しています。前半は利

上げ長期化観測から米国株が下げても

底堅く推移していましたが、米国でリセ

ンション懸念が強まり、長期金利低下と

株安が同時に進んだことを警戒して、8

日は2万7

500円割り込む場面

た。ただ、新規失業保険

加で利上げペース減速

り、米国株上昇した流

いで週末は急反発、週

万7415円で目先の

かたちになりました。

は米11月消費者物価

FOMC、さらにEC

るなど、重要スケジュ

です。値の荒い展開も

一方で年末のIPOが



## テモナはストップ高

### サブスク支援へ期待高まる

30日、テモナ（3985）がストップ高。定期販売の特化型の通販システムが主力で、1月からは新サービス「サブスク」を提供を開始しており、本格収益期待が高まった。サブスク（定期販売）サービスを提供している同社のノウハウから生まれたカリキュラムを通して

テモナの日足チャート



### イーザイ安全性発表

サブスクビジネスの設計と事業モデル立案を支援。資金調達ノウハウなど事業展開に必要な情報の提供も可能という。

イーザイ（4523）が急反発。米科学誌Science誌のレカナマブの安全性に関する記事について、全ての安全

### エヌピーシ顧客にテスラ

1日、エヌ・ピー・シー（6255）がストップ高。有価証券報告書で主要顧客に「Tesla, Inc.」の記載があり、米テスラとの取引による業容拡大への思惑から買いを集めた。装置関連事業でTesla, Inc. に対して22年8月期に約4億6000万円の売り上げがあった。

### 公開価格の5.3倍

前日の取引終了後、12月31日を基準日として1対2の株式分割を実施すると発表した。

### ウエルプレイドRの初値

前日に東証グロース市場に新規公開したウエルプレイド・ライゼスト（9565）はこの日、公開価格1170円に対して5.3倍の6200円で初値が生まれた。同社はeスポーツを手掛ける。

### Birdman分割

Birdman（7063）がストップ高。

## 気体溶解装置

**sansolver** (サンソルバー)

### 気体を液体に効率よく溶かし込む！

#### 特長

- ・酸素を効率よく溶かし込むことにより、陸上養殖における酸素使用量の削減に貢献
- ・マイクロバブル装置特許技術を応用した、高い気体溶解性能
- ・小水量、低圧力での溶解が可能
- ・簡単な溶解システム
- ・高い耐食性
- ・多種類の気体溶解が可能（酸素、二酸化炭素、窒素、水素等）

#### 用途

- ・高濃度気体溶解水の生成



**三相電機株式会社**

本社 〒671-2288 姫路市青山北一丁目1番1号  
TEL (079) 266-1200 (大代表) FAX (079) 266-1206  
URL: <http://www.sanso-elec.co.jp>



# ファイナシスターはS高

1日、ファイナシスター(5994)がストップ高。自社製品がトヨタ新型「プリウス」に搭載されることになったと発表した。搭載されるのはインバーター構成部品で、12月に生産ラインを追加して年120万台分の生産能力を確保、さらに24年には約3億円の設備投資を行って年60万台分の新規生産ラインを追加する。すべてのラインが稼働すると、既存の生産能力と合わせて年360万台

分に拡大する。

**公開価格6%上回る**

サイフューズの初値サイフューズ(4892)が東証グロ

ー市場に新規公開、公開価格1620円を6・2%上回る1720円で初値が生まれた。同社はバイオ3Dプリンタを用いた、再生医療等製品の開発・製造・販売を行う。

## ユニネクはストップ高

### 株式分割と株主優待を好感

週末2日、ユニネク(3566)がストップ高。12月30日を基準日として1対4の株式分割を行うと同時に株主優待制度の導入も発表したことを好感した買

週末2日、ユニネク(3566)がストップ高。

### 住石HD井村氏大株主に

いを集めた。

住石ホールディングス(1514)がストップ高。大量保有報告書で著名投資家の井村俊哉氏が発行済み株式数の7・65%を取得、大株主に浮上したことが判明した。保有目的は純投資。井村氏は三井松島(1518)のほか、直近では富山第一銀行(7184)の大量取得が話

## ハークスレイは成長期待

### 12月第2週の動意銘柄

週明け5日、ハークスレイ(7561)が急伸。23年3月

期第2四半期決算説明会資料で稲葉ピナツなどの子会社化

や店舗リース&ソリユーション事業などが説明されており、業容拡大による成長期待が高まった。23年3月期は連結営

業利益で72・2%の大幅増益を見込む。**Jエスコム業務提携** ジェイ・エスコムホールディングス(3

779)がストップ高。BSPAセットマネジメントとの業務提携を発表した。事業再生案件を中心に投資先を開拓、優良案件に共同で投資する

題になった。**W杯関連に買い気再燃** ハブ(3038)やサイバーエージェント(4751)などサッカーワールドカップ関連に買い気再燃。日本対スペイン戦で日本が2対1

と劇的な逆転勝ちで予選リーグを1位通過したことから英国風居酒屋のハブや試合中継で最高視聴率のインターネット放送局「アベマ」を経営するサイバーエージェントにご祝儀的な買いが入った。

**エーカラはロックアップ終了** ANYCOLOR(5032)が急落。ロックアップ期間が終了したことで、大株主のベンチャーキャピタルの売却を警戒した売りがかさんだ。年末のIPOラッシュに向けた換金売りも出たようだ。

## テーマ株の循環物色へ

先週の東京株式市場は反発しました。手掛かり材料の乏しい週で、日経平均は一時前週安値を割り込む局面がありましたが、週末の12月限メジャーSQを通過すると様相が一変。SQ値は2万7576・37円で着地しましたが、当日の現物の日経平均安値が2万7633・96円だったことから「幻のSQ値」となりました。下値に幻が発生したことで、SQ値を割り込まなければクリスマスラリーが期待できることになりそうです。

日経平均は75日線が下値支持線として機能し、週末には25日線を捉えてきました。物色の中心は国策として浮上してきた防衛関連銘柄や来年の黒田日銀総裁退任後の政策変更期待から銀行株を中心に、中国がゼロコロナの看板を下ろし緩和姿勢に転じたことから、インバウンド銘柄がテーマとして循環物色による指数嵩上げが期待できそうです。  
日々勇太郎

## 転ばぬ先のテクニカル



企業観察

ハリマ化成G(4410)

はんだ材料で世界戦略

ハリマ化成グループ(4410)は6月に独大手化学メーカーのヘンケル社からはんだ材料事業を買収、グローバルに体制を整え本格的な拡大戦略に乗り出した。

同社の電子材料事業カンパニーは金属粉とロジン誘導体を組み合わせたペースト状のはんだ「ソルダペースト」を主力商品の一つとしており、買収した事業は電子材料事業カンパニーのはんだ材料事業と統合。国内(兵庫県加古川市)と米国、チェコ、マレーシア、中国の生産・営業拠点にマレーシアの生産拠点を加え、ヘンケルからの開発・技術営業要員を受け入

自動車と電子部品・半導体分野開拓

れるため、英国に新会社ハリマUKを設立した。

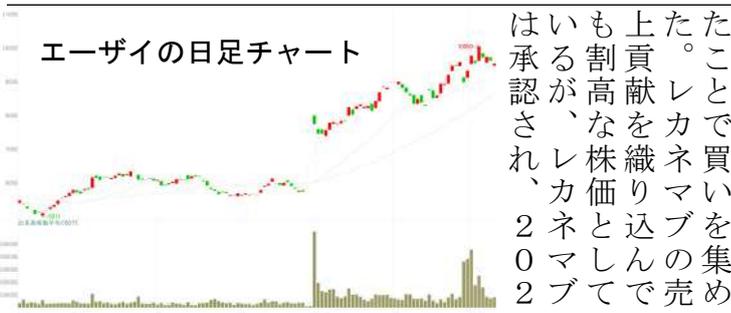
自動車電動化や5Gの普及を背景に電子部品と高機能はんだ材料へのニーズが強まるなか、高耐久鉛フリーソルダペーストで自動車分野、ヘンケルから取得した室温で長期保管可能なソルダペーストで電子部品・半導体分野の需要を開拓していく。取得事業の顧客基盤も生かして欧米、中国を含め全世界で事業を拡大する方針だが「ヘンケルの商圏と重複する部分は少ない」(会社側)としており、効率的な事業拡大と運営、市場開拓を進めることができると見込み。

イーザイが急反発

レカネマブ売上貢献織込む

の、目00円から6500円へ大幅に引き上げ

5日、イーザイ(452)が急反発。三菱UFJモルガン・スタンレー証券が2日付で、レカネマブのイーザイに貢献を織り込んで、202



たことで買いを集めた。レカネマブの売上貢献を織り込んで、2022年3月期に5598億円のグローバル売上に達すると想定している。

6日、ダイコク電機(6430)が急反発、年初来高値を更新した。23年3月期の連結業績予想について、売上高を265億円から290億円(前期比18.9%増)、営業利益を11億円から18億5000万円(同55.3%増)へ大幅に上方修正した。スマート遊技機の市場投入が始まり、ユニット販売も伸びる見通し。収益拡大に伴い年間配当金も40円から60円(前期60円)に引き上げた。

ダイコク電機は大幅増額

バンク・オブ・イノベーション(4393)が大幅続落。新作RPG「メモントモリ」の11月の課金高(速報値)が28億円だったと発表した。10月18(31日)の課金高35億円から大きくスロウダウンしており、新作大ヒットによる収益貢献期待が後退した。

ピアズ資本業務提携

ピアズ(7066)がストップ高。エンタメテック事業のPortの第三者割当増資を引き受け、資本業務提携したと発表された。自分のファンに向けて1on1ビデオ通話を販売できるPortのツール「Talkpor」を活用したVtuberとファンとのコミュニケーション、NFTを活用したクリエーター・ファンエコノミーの提供などで協業する方針で、先行きメタバース事業での協業も視野に入れている。

半導体関連大幅反落

7日、レーザテック(6920)、東京エレクトロン(8035)をはじめ半導体関連株が大幅反落。ISM非製造業景気指数の上振れで米金融引き締め長期化が意識され、前日の米国株市場でエヌビディアやAMDなどが下落、SOX指数が4日連続となっており、海外関連株安の流れ

住石HD井村氏買増し

住石ホールディングス(1514)が急反発し最高値。著名投資家の井村俊哉氏の保有比率が12.71%と前回提出時から2.84%上昇した。1日に量保有が判明してから取得ペースが速まっております。需給思惑などが一段と強まった。





# 23年3月期大幅営業増益へ

## 電解水透析の普及加速

ついでに第2四半期決算発表時に

### 日本トリム (6788)



### トリムイオンRefine

60円から120円(前期60円)へ大幅に引き上げている。コロナ禍の収束により職域販売が回復。これに加えて原材料高などに対応すべく、メイン商品で血液透析の応用で実用している技術を搭載した電解水素水整水器「トリムイオンRefine」の価格改定効果も利益率改善に寄与している。23年3月から他の製品でも価格改定を進めるほか、医療関連事業では電解水透析の導入施設が上期新たに2施設増加。現在は29施設(929床)で導入、下期では6施設の導入を予定しているが、透析施設は国内に4500施設存在することから、透析患者の余命延伸や投薬量減少など電解水透析の有用性をアピールして更なる普及に取り組んでいく方針。

日本トリム(6788)は電解水素水整水器のリーディングカンパニーで、20を越える国内外の大学や研究機関と産学共同研究をすすめ、人間にとって最適な「水」とは何かを追求し続けている。23年3月期は売上高181億3000万円(前期比11.1%増)、営業利益25億円(同25.1%増)、純利益16億円(同17.6%増)を計画。前期において中国病院運営事業関連の債権譲渡とSTEMセル研究所の株式売り出しにより税金費用が減少した特殊要因による反動で純利益では減益となるものの、営業利益ベ

リスで大幅な増益を見込み、期末一括配当に

## 炎症性腸疾患緩和効果も

今年10月には理化学研究所との共同論文で、電解水素水の日常飲用は炎症性腸疾患モデルラットの腸組織の炎症を抑制し、腹部疼痛を緩和する論文を公表した。再発しやすい炎症性腸疾患の症状緩和に効果が期待されることも今後、注目を集めることになりそうだ。

## 電力株が軒並み高

### 原発建替え運転延長へ指針

週末9日、東京電力ホールディングス(9501)、東北電力(9506)、関西電力(9503)

結集することも盛り込んだとしている。

トミタ電直近65%減益

トミタ電機(6898)が急落。23年1月期第3四半期累計の連結営業利益は1億8800万円(前年同期比30.2%増)と大幅増益で着地したが、直近3カ月の8〜10月期は2200万円(同65.0%減)と急減速した。中国ロックダウンでスマホ向けが生産調整。

週末9日、東京電力ホールディングス(9501)、東北電力(9506)、関西電力(9503)をはじめ電力株が軒並み高。経済産業省の審議会が廃止が決まった原子力発電所の建て替えや、最長60年と定めた運転期間の延長を盛り込んだ行動指針をまとめたと伝わった。原子力を脱炭素化のけん引役と位置づけ、再稼働を推進するために関係者の総力を

東北電力の日足チャート



Aiming(3911)が一時ストップ高。UUUM(3990)のグループ会社LITMUSと講談社との3社共同制作による非対称型オンラインホラーアクション「かみながしじま」輪廻の巫女への期待が高まった。

# チャート から読む 騰落銘柄

## AMI (3773)



12月6日に25日線手前の1138円まで調整後に再び上値追い。11月25日高値1253円を抜ければ19年2月高値1872円まで上値のフシはない。AI音声認識はコンタクトセンター向けに伸びる。

## Gセキュリティ(4417)



11月29日に実質最高値5780円をつけてから、25日線レベルの4610円まで20%強の押し目を入れスピード調整完了。60%営業増予想益と高成長持続、増配期待も強く、高値奪回から一段高へ。

## 日東紡(3110)



11月18日に2248円まで戻すも50日線は抜けきれず再び下落基調。2000円を割れば18年12月の1586円まで下値のフシはない。車や電子向けが苦戦で業績面でも不安が高まる。

## ニコン(7731)



2Q24%営業減益を嫌気、マド空け急落のあと一旦出直るも戻り売り押され再び下値模索へ。FPD露光装置不振で通期下振れ懸念強く、押し目買いに積み上がった信用買い残も重荷で一段安を警戒。

※チャートは日足

# 星野三太郎の 株街往来

～円安騒ぎは何だった？～

トでは円高への警戒が拡  
がっている。10月21  
日に1ドル151円94  
銭まで円安が進んでいた  
ときは、170円、その  
先は200円まで円が売  
られるなんて見方をする  
評論家もいたが、FRB  
が12月FOMCで利上  
げ幅の縮小を検討などと  
伝えられると円高に反転  
し、この133円66銭  
まで円が買い戻された。

思い起こせば民主党政権時の2012年には7  
円77銭まで円高が進んでいたが、当時は50  
円までこの先、円高が進むと予測する評論家が存  
在していた。今回はその逆で、手持ちの現金を全  
てドルに換金したり、FX取引のドル買いだけで  
生活している個人投資家がマスコミで取り上げら  
れていた。いつの時代も世間一般で大騒ぎになる  
と、その動きが反転することが多いが、その騒ぎ  
に巻き込まれることなく、冷静に判断して行動し  
たいものだ。

先の第2四半期決算では期初の120円割れの  
為替前提から変え  
ていない企業も少  
なくなかった。為  
替の動きは予測が  
難しいが経営者は  
当然の如く冷静に  
判断している。



## New product

### ダスキン ポケモンとキャンペーン 「ミスド福袋2023」数量・期間限定で



#### ミスド福袋2023

ポケモンとのキャンペーンの一環として、ミスド福袋オリジナルグッズがセットになった「ミスド福袋2023」を12月26日から数量限定で順次発売する。

人気のポケモンからピカチュウやプリンをはじめ、チェリンボ、ペロッパフ、ヤドンなどをデザインしたミスド福袋オリジナルグッズを用意。福袋の内容は、税込2400円、3600円、5900円の福箱の3種類。5900円の福箱には、たくさんのかわいいポケモンとドーナツがデザインされた「バスタオル」が登場。バスタイムはもちろん、ちょっとしたお昼寝でも利用できる。

ダスキン(4665)が運営するミスタードーナツは、今年も

### サントリー ペプシ フライドチキン専用 直感でコーラと食べ合わせしなくなる

ペプシ フライドチキン専用



サントリー食品インターナショナル(2587)はクリスマスシーズンの“定番食”フライドチキンとの相性に着目して開発した「ペプシ フライドチキン専用」を、冬季限定新発売している。

今回発売する「ペプシ フライドチキン専用」は、フライドチキンをさっぱり美味しく食べられるよう、カロリーゼロ設計のレモンフレーバーのコーラで、炭酸飲料の需要が高まるクリスマスシーズンを盛り上げる。パッケージは、ジューシーなフライドチキンの写真を大きく配し、ラベル全体に水滴を描くことで、直感的にコーラとフライドチキンを食べ合わせしなくなるようなデザインに仕上げしており、フライドチキン専用にちなんで、お笑いコンビの“コロチキ”(コロコロチキチキペッパーズ)が登場するWEB CMも公開中。

## 潮流

## 円高は経済にマイナス

## インフレ沈静化とリセッションが交錯

marKet/bAnk



日経平均は10月3日に2万5621円の底から上昇基調が強まり、11月24日に2万8502円の戻り高値を付けた。上昇率は11.2%だ。その後は下落基調が強まっている。

米ダウ平均は10月13日の2万8660ドルを底に、12月1日の高値3万4595ドルまで上昇率は20.7%だ。米ダウ平均が上昇してきた背景にはインフレ沈静化に伴う米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締め緩和期待とテクニカル要因だ。

パウエル議長は11月30日、利上げペースを減速する時期について、「早ければ12月会合になるかもしれない」と表明した。市場では、13～14日に開かれる連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げ幅を0.5%に縮小するとの見方だ。

12月7日の米国市場で米長期金利が低下し、一時3.40%と9月以来の低水準を付けた。金利が下げる場面では高PER（株価収益率）のハイテク株は相対的な割高感が薄れるため買われることが多いが、ナスダック総合株価指数は下落。米国を代表するハイテク企業のアップル、マイクロソフト、アマゾン・ドット・コム、メタプラットフォームズ（フェイスブック）、

メディシノバの日足チャート



アルファベット（グーグル）といったGAFAMが売られた。投資

家がハイテク株を積極的に買えないのは、米金利の低下はFRBの利上げで米経済がリセッション（景気後退）に陥るとの警戒感を表している

と受け止められているためだ。長期金利は市場参加者が運用リスクを回避するため安全資産とされる米国債を買うと低下する。金利が下がっても、景気不安を踏まえるとハイテク株はむしろ割高に映ってしまう。このままハイテク株の売りが続けば米株式相場の先行きは一段と危うくなってしま

う。12月13日には11月の米消費者物価指数（CPI）の発表がある。米インフレのピークアウトが意識された10月のCPIの発表後の流れを引き継ぐと、金利は一段と低下し、外国為替市場で円の対ドル相場が大きく上昇するシナリオも描ける。米CPIをきっかけに円高・ドル安が強まれば、国内輸出企業はグローバル景気悪化に加え、コスト高を為替差益でカバーするのも困難になる。

円高は経済にはマイナスである。値がさハイテク株が多い日経平均の上昇率が鈍い要因である。

潮流銘柄はメディシノバ（4875）、共立メンテナンス（9616）、日本紙パルプ商事（8032）。

岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2022年1月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

景気悪化とコスト高吸収困難

# 大きく動きづらい相場

## 日経V-I低下に警戒要す

先週の日経平均は前週末比約123円高と2週間ぶりに週足陽線となった。

下値を試す動きもあったが2万7415円で下げ止まった。この水準は13週移動平均線(2万7399円)、26週移動平均線(2万7452円)、52週移動平均線(2万7381円)が位置するが当面の下値抵抗ラインとして機能しそうだ。

今週は年内の最大イベントの11月米CPIの発表(13日)、米FOMC(13日、14日)がある。また、15日にはECB理事会が開かれる。米国のインフレのピークアウト感が出てきており、今回の利上げは前回より低く0.5%が見込まれているが、その後のパウエル議長の発言に

とされる。利上げ期間が長期になると感じ取れば市場にはマイナスに働くと思われる。

日経平均は2万8500円に近づくかと売られ、2万7500円を割り込むと買われる状況になっている。売りを仕掛けるにも買い上がるにも材料不足といったところであろう。

注目が集まる。場は上り終った。上げが終った。のり展を。開るな。探るな。

敬腕先物ディーラー

### ハチロクの裏話



ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

ハチロクのプロフィール  
証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



パウエル議長会見後のNY市場の動きに注目(NY証券取引所)

日経平均VIの日足チャート



そのため日経VIは低下し、8ポイント前後で推移している。過去の18ポイントを割り

日経225先物の日足チャート



「突っ込み買いの吹き値売り」で対応したい。(ハチロク) 今週はイベントを控え、前半様子見で後半に動く展開となる。レンジは2万7300円〜2万8300円を想定。相場が膠着状態になってくれば、買いではなく売りで大きく動くケースが多い。相場の関心が金利から業績に移った時、米国の実体経済の悪化に反応しやすくなるのかもしれない。年明けはそういった相場になるかもしれないと構えることも必要なかもしれない。

# 記者の視点 相場見通し

## パウエル会見見極め

### どうもよいADPインフレ

12月第2週の東京市場は8日に一時、日経平均では2万7

OMCで14日にはパウエル議長の会見が予定されており、この内容を見極めるまでは2万8000円を抜けたとしても戻り売りに押される展開が想定される。

まず大型上場となるスカープンワーク(5139)と1週間で8銘柄の新規上

415円66銭まで下げ相場があつたが、9日には2万8000円近くまで急速に戻す動きになつた。

一方、国内では14日に12月調査日銀短観、10月機械受注、15日に貿易統計など。指標的にはマーケットに大きな影響を与え

円超えの初値になるか注目される。その他ではモビリティデータのスマートドライ

雇用統計では雇用者数や賃金が想定以上の伸びとなり、利上げが長期化するとの懸念が高まつていたが、8日発表の週間米新規失業保険申請件数が小幅ながら前週比で増加したことを受けてFRBが一段の利上げに動くとの懸念が和らいだこと

はプロペルティエchnology(527)14日にはスカイ

ベース「展開のRebase」が注目されるだろう。

感染が再拡大しているとはいえ、未だにほとんどの人が屋外など必要のない場面でもマスクをしている。感染防止のためには必須で着用は常識と思ひ込んでいる人もいるかも知れないが、他人の目が気になるので、とりあえずつけている人の方が多いだろう。ただ、マスク着用の弊害を認識している人は少ない。口まわりが湿気がかぶれる接触性皮膚炎や酸素不足による頭痛だけでなく、幼少期の脳の発達にも影響があるという。年末相場は期待できそうだが、これまでの急速な利上げの弊害が気になる。

## 編集後記

方向感が定まらない状況ながら、米国の長短金利差から試算される1年後の景気後退確率は11月時点で38・1%とリーマン・ショック以降で最も高くなつており、FRBが従来通り

の利上げペースを続けるのは不可能との見方が拡がっているようだ。どちらにしても週明けは13日からF

マーク(9204)と大栄環境(9336)、15日にスマートドライブ(5137)とAnym(5027)、16日にはフ

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。

### 今週のスケジュール

- 12日 11月国内企業物価指数  
10-12月期法人企業景気予測調査
- 13日 独12月ZEW景況感指数  
FOMC(～14日)  
米11月消費者物価
- 14日 12月調査日銀短観  
10月機械受注  
パウエルFRB議長会見(経済見通し発表)
- 15日 11月貿易統計  
10月第三次産業活動指数  
中国11月工業生産、中国11月小売売上高、中国11月都市部固定資産投資  
ECB定例理事会(ラガルド総裁会見)  
英金融政策委員会  
米12月NY連銀製造業景気指数  
米11月鉱工業生産・設備稼働率
- 19日 日銀金融政策決定会合(～20日)  
11月首都圏新規マンション発売
- 20日 黒田日銀総裁会見  
米11月住宅着工件数
- 21日 11月訪日外客数  
米7-9月期経常収支  
米11月中古住宅販売件数
- 23日 10月27・28日開催の日銀金融政策決定会合議事要旨  
11月消費者物価  
米11月個人所得・個人支出  
米11月耐久財受注  
米11月新築住宅販売件数